

単元名 (書写)学習活動や日常生活に生かして書こう

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 漢字と仮名の調和や、文字の大きさ、字間・行間、書式に気を付けて、適切に書くことができる。
(3) 目的や必要に応じた書き方について、自己の課題をもって取り組もうとする。

標準的な展開例

11210310_001

【教材名】さまざまな書く場面 学習を生かして書く (P. 78～P. 86)

【準備等】それぞれの課題にあわせた用紙を準備する。便箋、封筒、葉書、メッセージカード、模造紙、新聞用紙等。筆記用具として、筆、筆ペン、フェルトペン、サインペン、ボールペン等。

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 目的や必要に応じた書き方をする注意点を考えて、話し合う。</p> <p>○ 今までの書写活動を生かす場面について考えることを知り、本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★目的や必要に応じた書き方をするための注意点を考えて話し合おう。</p> <p>○ 話し合いの観点を確認する。</p> <p>○ 教室内、校内などを想起し、書写活動の場면을カードに書き出し、目的と相手について話し合う。</p> <p>○ 取組について、書体や筆記用具、用紙と書き方の注意点について話し合う。</p> <p>○ 話し合いの内容をまとめ、振り返りを行う。</p> <p>2 目的や必要に応じた効果的に伝える工夫を考えて、新聞を書く。</p> <p>○ 1年生での学習を想起させ、本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★目的や必要に応じた効果的に伝える工夫を考えよう。</p> <p>○ 教科書(p. 82～p. 83)の例を見て、読みやすくするための工夫を話し合う。</p> <p>○ 事前に準備した記事原稿を割り付けて書く。</p> <p>○ 相互評価を通して、本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>3 伝える相手や目的を意識して、ポスターに案内を書く。</p> <p>○ 1年生での学習(縦書きのポスター)を想起させる。</p> <p>○ これまでの書式と配列についての学習を生かして、行書で横書きのポスターを書くことを知り、本時の学習課題をつかむ。</p>	<p>・教科書(p. 82～p. 85)では、①新聞を書く②掲示物(ポスター)に案内を書く③案内状を書くの3教材が用意されている。全ての配列に触れることは必要だが、生徒の実態や他教科、領域との関連を検討し、重点化や選択化も含めて工夫して指導したい。</p> <p>・今までの書写活動を生かす場面と、場面に合った書き方をするにはどのようにしたらよいかを話し合う時間となる。</p> <p>・具体的に単元の計画を立てさせるとよい。</p> <p>・書く目的を明確にして確認する内容は、以下のとおりである。</p> <p>①何のために ②誰に向けて ③どのように ④書体 ⑤筆記用具</p> <p>・グループに分かれて話し合わせるのもよい。</p> <p>・話し合いの意見をメモするように指示する。メモの取り方を練習する機会にもさせる。</p> <p>・具体的に生活に生かす場面について、計画を立てさせる。目的や必要に応じた注意点を話し合わせたい。</p> <p>・板書する場合は、チョークの持ち方を練習する機会にもさせる。</p> <p>【評】目的や必要に応じた準備や注意点について話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・教科書(p. 79)に記入させる。</p> <p>・次時の用意等について確認する。</p> <p>・教科書(p. 36～p. 37)を参照したり、昨年度の作品を実際に提示したりすることで思い出させる。</p> <p>・伝える相手が関心をもてるように、工夫されている点を話し合わせる。</p> <p>・具体的な工夫は、以下のとおりである。</p> <p>①文字の大きさや線の太さ、色使いの工夫 ②効果を考えた筆記用具の選択 ③割り付けの工夫 ④行間をそろえる ⑤漢字より仮名を小さめに書く</p> <p>・余白にも注意させながら、それぞれの記事を割り付けさせてから書かせる。</p> <p>・国語の単元や、他教科、領域との関連を生かした課題に取り組ませる。</p> <p>【評】目的や必要に応じて効果的に伝える工夫を考えて新聞を書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・互いの作品のよい点を認め合わせたい。</p> <p>・教科書(p. 36)を参照したり、昨年度の作品を実際に提示したりすることで思い出させる。</p> <p>・本時の教材が、学校生活における書写活動の体験であることを確認させる。</p> <p>・学習教材は、グループ活動で取り組ませたり印刷されたポスターの一部に書き込ませたり</p>

★伝える相手や目的を意識してポスターに案内を書こう。

○教材例を見ながら、基準を知り、自己課題を設定する。

○目的に合ったポスターを試し書きする。

○試し書きした作品を相互批評する。

○まとめ書きをする。

○相互評価を通して、本時の学習の振り返りを行う。

4 用具を生かして、行書で案内状を書く。
○誰に、どのような目的で案内状を書くか確認して、本時の学習課題をつかむ。

★用具を生かして、行書で案内状を書こう。

○横書きの書き方に着目して基準を知り、自己課題を設定する。

○目的に合った案内状を試し書きをする。

○試し書きした作品を相互批評する。

○まとめ書きをする。

○本時の振り返りを行う。

するなど工夫したい。

・教科書(p.84)には、クリーン作戦の掲示物(ポスター)の例が掲載されているが、実際に使える教材を用意したい。

・基準は、以下のとおりである。

①文字の大きさや線の太さ、色使いを工夫する。

②横書きは文字の下部か中心をそろえる。

③書き始めの位置をそろえる。

内容によっては一字下げる。

④行間をそろえる。

⑤漢字よりも仮名を小さめに書く。

⑥行書とそれに調和する仮名の書き方に気を付ける。

・時間的に難しい場合は、内容を一部にしたり試し書きを省いたりする方法もある。

・行書や字形のみではなく、文字の大きさや配列を意識して書けているか、観点を提示するとよい。

・生徒の実態に合わせて、薄い罫線や、方眼が入った模造紙等の用紙を用意するとよい。

【評】伝える相手や目的を意識してポスターに案内を書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・互いの作品のよい点を認めさせたい。

・教科書(p.85)を参照させる。

・基準は、以下のとおりである。

①左右、上下の余白を等しく取る。

②行間を取る。

③漢字は大きめ、平仮名は小さめに書く。

④横書きのため、数字は算用数字にする。

・時間的に難しい場合は、内容を一部にしたり試書を省いたりする方法もある。

・行書や字形のみではなく、文字の大きさや配列を意識して書けているか、観点を提示するとよい。

・薄い用紙を後から貼り付ける場合は、下に罫線の入った下敷きを敷かせることもできる。

【評】内容に合わせて用具を選び、配列に気を付けて書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・教科書(p.85)に記入させる。

【 備 考 】

日常的な活用場面を想定し、漢字と仮名を調和させ、文字の大きさや字間・行間、書式に気を付けて適切に書かせるようにし、日常の言語活動にも生かしていけるようにする。

そして、相互評価や互いの作品を鑑賞することを学習活動の中に取り入れ、日常の書写活動にも生かせるようにしていきたい。